



PRESS RELEASE: *Strictly embargoed until 00:01 GMT September 7, 2022*****

プレスリリース

「各国の中央銀行と金融監督当局に対して、自然と気候に対する行動を強化するよう促す」（仮訳）

- 新しい行動喚起（Call To Action、CTA）で、WWF と 90 を超える組織および専門家は、中央銀行と金融監督当局に対し、主要な任務の一環として、気候と生物多様性に関連する金融リスクを管理するよう求める。
- 気候関連開示の義務化は重要な第一歩だが、気候変動や生物多様性の損失によってもたらされるリスクから保護するには十分ではない。
- 中央銀行と金融監督当局が何をすべきかを定めた新しいロードマップに基づき、CTA は気候変動と自然の喪失を、金融の双子の危機として扱うことの重要性を強調している。

2022 年 9 月 7 日: 本日発表されたグローバルな行動喚起（CTA）で、WWF と 70 を超える組織、NGO、シンクタンク、個人のソートリーダーは、中央銀行と金融監督当局に対し、相互に関連する生物多様性の喪失と気候変動の危機が生み出す経済的リスクを認識し対処するため、利用可能なすべてのツールを使用するよう呼びかけた。

国連環境計画・金融イニシアティブ、欧州環境局、ネイチャーファイナンス、天然資源保護協議会（NRDC）、ニューエコノミクス財団などの組織が共同署名した CTA は、中央銀行と金融監督当局が環境と気候への影響を制限し、将来のリスクから保護し、市場形成の役割を利用してより広範な変化を与えるためにとるべき具体的なステップを設定している。CTA は、今日の環境への影響が明日のリスクを生み出すことを強調しており、そのため中央銀行と金融規制当局に対しては、予防的措置を講じることが使命とみなしている。

この CTA は、G20 財務大臣・中央銀行総裁会議、G20 首脳サミット、第 27 回気候変動枠組条約締約国会議、生物多様性条約第 15 回締約国会議など、国際的な経済政策立案者が今後数か月にわたっていくつかの重要な会合をする予定であることから発表された。CTA の署名者は、中央銀行と金融監督当局に次のことを求めている。

- 2030 年までのネイチャー ポジティブ達成を採用し、地球温暖化を 1.5 °C に制限し、2050 年までに温室効果ガスの排出量ネットゼロを達成することを、その主要な使命とすること。
- 最も高い財務リスクを内包する「常に環境に有害な」経済活動、企業、セクターによる経済コストと金融リスクを、金融政策と規制がより適切に反映するようにすることで、経済の変革を促進する。
- 規制する対象のすべての金融機関に対し、生物多様性と気候変動に関する信頼できる移行の計画を公表するよう求める。

CTA によれば、金融政策と規制は、今後も続く生物多様性の損失と地球温暖化によって引き起こされる重大な金融と価格の不安定性に対処する必要がある。WWF は、特に 10 月 13 ~ 14 日にインドネシアのバリで開催される財務大臣と中央銀行総裁の会議が、各国がコミットメントを具体的な行動に移すだけでなく、以下の重要な機会を提供すると考えている。

- 生物多様性の喪失と気候変動を双子の危機として扱い、それが金融と物価の安定に及ぼす大規模な不安定化の影響を認識する。



- 予防的アプローチを使用し、積極的かつ断固として取り組み、将来のリスクを防止する。
- 今日の影響は明日のリスクであることを認識し、金融規制と監督をより長い期間 (10 ~ 30 年) を視野に入れたものとする。

世界経済と金融システムは自然に深く組み込まれているが、自然は前例のない速さで失われている。健全な生態系は、温室効果ガスを吸収することにより、地球の気温上昇を 1.5°C に抑えるために必要な吸収量の 37%ⁱを提供できる。しかし、気候変動、森林減少や土地転換などの人為的な生息地と生物多様性の損失、およびその他の自然損失の主要な要因ⁱⁱは、このプロセスを弱体化させ、吸収できる以上の CO2 を放出する。非常に高い気温が物価に与える影響に関する新しい証拠ⁱⁱⁱは、極端な気温が価格の動向に顕著な影響を与えることも発見している。

中央銀行と金融監督当局は、環境危機が金融の安定と全体的な物価水準にもたらす脅威を認識しており、気候変動や生物多様性の損失^{iv}に組み込み、低炭素経済への移行を支援することを約束^vしている。CTA は、気候関連の情報開示などの現在の行動は、双子の危機によってもたらされるリスクから保護するには不十分であることを強調している。

- 現在の自然損失は、2030 年までに世界経済に年間 2.7 兆ドル^{vi}の損害を与える可能性がある。
- 2.5°C の気温上昇により、最大 24 兆ドル^{vii}相当の資産が危険にさらされる可能性がある。
- 地球温暖化がこのまま進むと、気候リスクと影響により、「保険をかけられない^{viii}」世界が生まれる可能性がある。

WWF のファイナンス・プラクティスリーダーであるマーガレット・クロウは、次のように述べる。「中央銀行と金融監督当局は、金融と物価の安定を提供するために存在する。気候と自然に関連するリスクをよりよく理解し、管理するための緊急の行動がなければ、これらのリスクはマクロ経済に重大な影響を与えるだろう。」

国連環境計画・金融イニシアティブのネイチャー リードであるジェシカ・スミスは、次のように述べる。「自然関連財務情報開示タスクフォースや生物多様性のためのファイナンス協定など、このトピックに関して民間部門から多くのリーダーシップが見られることは励みになる。現在、中央銀行と規制当局が、生物多様性と自然について積極的に取り組み、情報開示を超えて、業界全体で自発的に行われていることを「取り入れる」ことが重要だ。2030 年までに自然喪失の流れを変え、2050 年までに私たちの経済を自然と調和させることができるように、彼らは迅速に行動しなければならない。」

参考情報

- WWF の「金融規制のグリーン化」イニシアティブ^{ix}による本 CTA は、ネット ゼロかつネイチャーポジティブな経済への移行を支援する科学者と金融実務家の幅広いネットワークを結集する。
- CTA は、中央銀行と金融監督当局が環境と気候への影響を制限し、将来のリスクから保護し、市場形成の役割を利用してより広範な変化を与えるためにとるべき具体的なステップを定めた WWF のロードマップ^xと密接に関連している。これは、テクニカルレポート^{xi}によって裏付けられている。



- WWF は、この双子の危機に対処するため、中央銀行と金融監督当局の進捗状況を毎年モニタリングしている。今年 12 月に発表される予定の SUSREG トラッカー^{xii}を通じてモニタリング結果を報告する。
- CTA に最初に署名した組織のリストは、CTA の最後のページ^{xiii}にある。

WWF について

WWF は 100 カ国以上で活動している環境保全団体で、1961 年にスイスで設立されました。人と自然が調和して生きられる未来をめざして、サステナブルな社会の実現を推し進めています。急激に失われつつある生物多様性の豊かさの回復と、地球温暖化防止のための脱炭素社会の実現に向けて、希少な野生生物の保全や、持続可能な生産と消費の促進を行なっています。

ⁱ <https://unfccc.int/news/antonio-guterres-healthy-ecosystems-are-37-of-the-climate-solution>

ⁱⁱ <https://ipbes.net/news/media-release-biodiversity-nature%E2%80%99s-contributions-continue-%C2%A0dangerous-decline-scientists-warn>

ⁱⁱⁱ <https://cepr.org/voxeu/columns/what-we-know-about-climate-change-and-inflation#:~:text=Finally%2C%20we%20show%20that%20the,term%2C%20including%20for%20advanced%20economies>

^{iv} <https://www.inspiregreenfinance.org/publications/central-banking-and-supervision-in-the-biosphere/>

^v <https://g20.org/wp-content/uploads/2022/02/G20-FMCBG-Communique-Jakarta-17-18-February-2022.pdf>

^{vi} <https://www.weforum.org/agenda/2021/07/climate-change-economic-cost-world-bank-environment/>

^{vii} <https://www.lse.ac.uk/GranthamInstitute/news/us2-5-trillion-of-the-worlds-financial-assets-would-be-at-risk-from-the-impacts-of-climate-change-if-global-mean-surface-temperature-rises-by-2-5c/>

^{viii} <https://www.greenbiz.com/article/axa-4c-warming-makes-world-uninsurable>

^{ix} https://wwf.panda.org/discover/our_focus/finance/greening_financial_regulation/

^x https://wwfint.awsassets.panda.org/downloads/wwf_gfri_roadmap__august_2022_lores.pdf

^{xi} https://wwfint.awsassets.panda.org/downloads/wwf_technical_background_report_2022.pdf

^{xii} <https://www.susreg.org/>

^{xiii} https://wwfint.awsassets.panda.org/downloads/call_to_action_2022_lowres.pdf